

注3

大学番号：私266

[平成30年度設置]

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

広島修道大学 国際コミュニティ学部

注2

## 【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人修道学園  
令和元年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 学長室総合企画課

職名・氏名 課長 <sup>クリハラ</sup> 栗原 <sup>シンジ</sup> 伸治

電話番号 082-830-1102

（夜間） 082-830-1102

F A X 082-830-1324

e-mail kikaku@js.shudo-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 目次

## 国際コミュニティ学部

<国際政治学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	27
4. 既設大学等の状況	28
5. 教員組織の状況	30
6. 附帯事項等に対する履行状況等	58
7. その他全般的事項	59

<地域行政学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	62
2. 授業科目の概要	66
3. 施設・設備の整備状況、経費	87
4. 既設大学等の状況	88
5. 教員組織の状況	90
6. 附帯事項等に対する履行状況等	116
7. その他全般的事項	117

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人修道学園

## (2) 大学名

広島修道大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒731-3195

広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学長	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)		
学部長	(ヤベ ツネオ) 矢部 恒夫 (平成30年4月1日)		
学科長等	(ナナミ アキコ) 名波 彰子 (平成30年4月1日)	(ヤギユウ カズシゲ) 柳生 一成 (平成31年4月1日)	任期満了による交代 (平成31年4月1日) (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。）
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる『「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生』を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
国際コミュニティ学部 国際政治学科 学士(国際政治学)	法学関係	4年	75人	— 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	75 (—) [—]	(—) [—]	75 (—) [—]	(—) [—]	1.05倍	—倍	
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	436 (—) [—]	(—) [—]	596 (—) [—]	(—) [—]			
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	431 (—) [—]	(—) [—]	592 (—) [—]	(—) [—]			
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	247 (—) [—]	(—) [—]	245 (—) [—]	(—) [—]			
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	84 (—) [—]	(—) [—]	74 (—) [—]	(—) [—]			
入学定員超過率 B/A					1.12		0.98				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・ （ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、（（ ）書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	対象年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	81	-	74	-	-	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 3 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次			-	-	-	-	81	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次					-	-	-	-	-	-	-
	[ - ]	[ - ]			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次					-	-	-	-	-	-	-
	[ - ]	[ - ]			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]
			( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計			-	-	81	155	-	-	-	-	-
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ 3 ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	84 人	3 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	3 人	0 人	他の教育機関への進学(1名)、その他(2名)
令和元年度	155 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		3 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{84} = \boxed{3.57} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{155} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。









科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目・外国語科目・英語科目	英語リスニングⅠ	1①		1							4
	英語リスニングⅡ	1②		1							4
	英語リスニングⅢ	1①		1							1
	英語リスニングⅣ	1②		1							1
	英語リスニングⅤ	1①		1							1
	英語リスニングⅥ	1②		1							1
	英語リーディングⅠ	1①~②		1							4
	英語リーディングⅡ	1④		1							4
	英語リーディングⅢ	1①~②		1							1
	英語リーディングⅣ	1④		1							1
	英語リーディングⅤ	1①~②		1							1
	英語リーディングⅥ	1④		1							1
	実用英語実習Ⅰ	1②③~②		1							1
	実用英語実習Ⅱ	1②③~④		1							1
	英語ライティング研究Ⅰ	1②③~②		2							3
	英語ライティング研究Ⅱ	1②③~④		2							3
	英語ライティング研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語ライティング研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	英語読解研究Ⅰ	1②③~②		2							4
	英語読解研究Ⅱ	1②③~④		2							4
	英語読解研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語読解研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1②③~②		2							3
	英語聴解研究Ⅱ	1②③~④		2							3
	英語聴解研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語聴解研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1②③~②		2							3
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1②③~④		2							3
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1②③~②		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1②③~④		2							1
	英語語法研究Ⅰ	1②③~②		2							2
	英語語法研究Ⅱ	1②③~④		2							2
	英語語法研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語語法研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	資格英語研究Ⅰ	1②③~②		2							5
	資格英語研究Ⅱ	1②③~④		2							5
	資格英語研究Ⅲ	1②③~②		2							2
	資格英語研究Ⅳ	1②③~④		2							2
	資格英語研究Ⅴ	1②③~②		2							1
	資格英語研究Ⅵ	1②③~④		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1②③~②		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1②③~④		2							1
小計(44科目)											
共通教育科目・外国語科目・初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	2①~②		1							2
	ドイツ語Ⅱ	2③~④		1							2
	ドイツ語Ⅲ	2①~②		1							2
	ドイツ語Ⅳ	2③~④		1							2
	フランス語Ⅰ	2①~②		1							2
	フランス語Ⅱ	2③~④		1							2
	フランス語Ⅲ	2①~②		1							2
	フランス語Ⅳ	2③~④		1							2
	スペイン語Ⅰ	2①~②		1							1
	スペイン語Ⅱ	2③~④		1							1
	スペイン語Ⅲ	2①~②		1							2
	スペイン語Ⅳ	2③~④		1							2
	中国語Ⅰ	2①~②		1							3
	中国語Ⅱ	2③~④		1							3
	中国語Ⅲ	2①~②		1							3
	中国語Ⅳ	2③~④		1							3
韓国・朝鮮語Ⅰ	2①~②		1							2	
韓国・朝鮮語Ⅱ	2③~④		1							2	
韓国・朝鮮語Ⅲ	2①~②		1							2	
韓国・朝鮮語Ⅳ	2③~④		1							2	
言語と文化Ⅰ(ドイツ)	3①~②		2							1	
言語と文化Ⅱ(ドイツ)	3③~④		2							1	
言語と文化Ⅲ(ドイツ)	3①~②		2							1	
言語と文化Ⅳ(ドイツ)	3③~④		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目・外国語科目・英語科目	英語リスニングⅠ	1①		1							3
	英語リスニングⅡ	1②		1							3
	英語リスニングⅢ	1①		1							1
	英語リスニングⅣ	1②		1							1
	英語リスニングⅤ	1①		1							2
	英語リスニングⅥ	1②		1							2
	英語リーディングⅠ	1①~②		1							3
	英語リーディングⅡ	1④		1							3
	英語リーディングⅢ	1①~②		1							1
	英語リーディングⅣ	1④		1							1
	英語リーディングⅤ	1①~②		1							2
	英語リーディングⅥ	1④		1							2
	実用英語実習Ⅰ	1②③~②		1							1
	実用英語実習Ⅱ	1②③~④		1							1
	英語ライティング研究Ⅰ	1②③~②		2							1
	英語ライティング研究Ⅱ	1②③~④		2							1
	英語ライティング研究Ⅲ(未開講)	1②③~②		2							1
	英語ライティング研究Ⅳ(未開講)	1②③~④		2							1
	英語読解研究Ⅰ	1②③~②		2							3
	英語読解研究Ⅱ	1②③~④		2							3
	英語読解研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語読解研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	英語聴解研究Ⅰ	1②③~②		2							2
	英語聴解研究Ⅱ	1②③~④		2							2
	英語聴解研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語聴解研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅰ	1②③~②		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅱ	1②③~④		2							2
	英語コミュニケーション研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅴ	1②③~②		2							1
	英語コミュニケーション研究Ⅵ	1②③~④		2							1
	英語語法研究Ⅰ	1②③~②		2							2
	英語語法研究Ⅱ	1②③~④		2							2
	英語語法研究Ⅲ	1②③~②		2							1
	英語語法研究Ⅳ	1②③~④		2							1
	資格英語研究Ⅰ	1②③~②		2							6
	資格英語研究Ⅱ	1②③~④		2							6
	資格英語研究Ⅲ	1②③~②		2							2
	資格英語研究Ⅳ	1②③~④		2							2
	資格英語研究Ⅴ(未開講)	1②③~②		2							1
	資格英語研究Ⅵ(未開講)	1②③~④		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅰ	1②③~②		2							1
	英語プレゼンテーション研究Ⅱ	1②③~④		2							1
小計(44科目)											
共通教育科目・外国語科目・初修外国語科目	ドイツ語Ⅰ	2①~②		1							1
	ドイツ語Ⅱ	2③~④		1							1
	ドイツ語Ⅲ	2①~②		1							1
	ドイツ語Ⅳ	2③~④		1							1
	フランス語Ⅰ	2①~②		1							1
	フランス語Ⅱ	2③~④		1							1
	フランス語Ⅲ	2①~②		1							1
	フランス語Ⅳ	2③~④		1							1
	スペイン語Ⅰ	2①~②		1							1
	スペイン語Ⅱ	2③~④		1							1
	スペイン語Ⅲ	2①~②		1							1
	スペイン語Ⅳ	2③~④		1							1
	中国語Ⅰ	2①~②		1							2
	中国語Ⅱ	2③~④		1							2
	中国語Ⅲ	2①~②		1							2
	中国語Ⅳ	2③~④		1							2
韓国・朝鮮語Ⅰ	2①~②		1							2	
韓国・朝鮮語Ⅱ	2③~④		1							2	
韓国・朝鮮語Ⅲ	2①~②		1							2	
韓国・朝鮮語Ⅳ	2③~④		1							2	
言語と文化Ⅰ(ドイツ)	3①~②		2							1	
言語と文化Ⅱ(ドイツ)	3③~④		2							1	
言語と文化Ⅲ(ドイツ)	3①~②		2							1	
言語と文化Ⅳ(ドイツ)	3③~④		2							1	







科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~②			2							1
	教育心理学(中等)	2+③~④			2							1
	教育原理(中等)	1①~②			2							1
	教育制度論(中等)	1③~④			2							1
	中等社会科教育法A	3①~②			2							1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~②			2							1
	社会科・公民科教育法A	3③~④			2							1
	中等社会科教育法演習A	3③~④			2							1
	中等道徳教育論	2③~④			2							1
	中等特別活動論	2③~④			2							1
	中等教育方法論	2①~②			2							1
	中等生徒・進路指導論	2①~②			2							1
	中等教育相談	2③~④			2							1
	教育実習事前事後指導	3・4通			1							2
	教育実習Ⅰ	3通			2							1
	教育実習Ⅱ	4通			2							1
	教職実践演習(中・高)	4③~④			2							4
差別問題論	1+③~④			2							1	
人権教育論	1③~④			2							1	
小計(19科目)												
合計(401科目)												
卒業要件及び履修方法												
<p>・修道スタンダード科目6単位以上、グローバル科目及び共通教育科目合計22単位以上(グローバル科目4単位以上、教養科目8単位以上、外国語科目英語科目4単位以上、外国語科目初修外国語科目2単位以上及び保健体育科目実習科目1単位以上を含む)、学部入門科目5単位以上、学科基礎科目3単位以上(体験実践論1単位を含む)、学科科目40単位以上(国際コミュニケーション領域6単位以上、国際政治領域8単位以上、地域研究領域8単位以上、政治・経済領域6単位以上を含む)、学科連携科目4単位以上、演習科目4単位以上、キャリア・実習科目4単位以上を含む主専攻科目70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>・履修制限単位数:第1学期及び第2学期の合計、第3学期及び第4学期の合計の各々について24単位(ただし4年次に限り28単位)、年間44単位。</p>												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~②			2							1
	教育心理学(中等)	2+③~④			2							1
	教育原理(中等)	1①~②			2							1
	教育制度論(中等)	1③~④			2							1
	中等社会科教育法A	3①~②			2							1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~②			2							1
	社会科・公民科教育法A	3③~④			2							1
	中等社会科教育法演習A	3③~④			2							1
	中等道徳教育論	2③~④			2							1
	中等特別活動論	2③~④			2							1
	中等教育方法論	2③~④			2							1
	中等生徒・進路指導論	2③~④			2							1
	中等教育相談	2③~④			2							1
	教育実習事前事後指導	3・4通			1							2
	教育実習Ⅰ	3通			2							1
	教育実習Ⅱ	4通			2							1
	教職実践演習(中・高)	4③~④			2							4
差別問題論	1+③~④			2							1	
人権教育論	1③~④			2							1	
小計(19科目)												
合計(447科目)												
卒業要件及び履修方法												
<p>・修道スタンダード科目6単位以上、グローバル科目及び共通教育科目合計22単位以上(グローバル科目4単位以上、教養科目8単位以上、外国語科目英語科目4単位以上、外国語科目初修外国語科目2単位以上及び保健体育科目実習科目1単位以上を含む)、学部入門科目5単位以上、学科基礎科目3単位以上(体験実践論1単位を含む)、学科科目40単位以上(国際コミュニケーション領域6単位以上、国際政治領域8単位以上、地域研究領域8単位以上、政治・経済領域6単位以上を含む)、学科連携科目4単位以上、演習科目4単位以上、キャリア・実習科目4単位以上を含む主専攻科目70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>・履修制限単位数:第1学期及び第2学期の合計、第3学期及び第4学期の合計の各々について24単位(ただし4年次に限り28単位)、年間44単位。</p>												















科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~2			2							1
	教育心理学(中等)	2+3~4			2							1
	教育原理(中等)	1①~2			2							1
	教育制度論(中等)	1③~4			2							1
	中等社会科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・公民科教育法A	3③~4			2							1
	中等社会科教育法演習A	3③~4			2							1
	中等道徳教育論	2③~4			2							1
	中等特別活動論	2③~4			2							1
	中等教育方法論	2①~2			2							1
	中等生徒・進路指導論	2①~2			2							1
	中等教育相談	2③~4			2							1
	教育実習事前事後指導	3+4通			1							2
	教育実習Ⅰ	3通			2							1
	教育実習Ⅱ	4通			2							1
	教職実践演習(中・高)	4③~4			2							4
	差別問題論	1+2①~2			2							1
	人権教育論	1③~4			2							1
小計(19科目)												
合計(419科目)												
卒業要件及び履修方法												
<p>・修道スタンダード科目6単位以上、グローバル科目及び共通教育科目合計22単位以上(グローバル科目4単位以上、教養科目8単位以上、外国語科目英語科目4単位以上、外国語科目初修外国語科目2単位以上及び保健体育科目実習科目1単位以上を含む)、学部入門科目5単位以上、学科基礎科目3単位以上(体験実践論1単位を含む)、学科科目40単位以上(国際コミュニケーション領域6単位以上、国際政治領域8単位以上、地域研究領域8単位以上、政治・経済領域6単位以上を含む)、学科連携科目4単位以上、演習科目4単位以上、キャリア・実習科目4単位以上を含む主専攻科目70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>・履修制限単位数:第1学期及び第2学期の合計、第3学期及び第4学期の合計の各々について24単位(ただし4年次に限り28単位)、年間44単位。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と表現)」の兼任・兼任教員数を「5」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と分析)」の兼任・兼任教員数を「6」から「5」に変更。
- ・担当者調整により、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・担当者調整により、「留学英語入門(海外生活Ⅱ)」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(CCCU/General English Topic 2)」を追加。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Conversational English)」から「海外研修B(AIC/Conversational English I)」及び「海外研修B(AIC/Conversational English II)」に変更。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Written English)」から「海外研修B(AIC/Written English I)」及び「海外研修B(AIC/Written English II)」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(現代ベトナム事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(CCCU/General English Skills 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Business Management)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Disney Collegiate)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(北京語言／中国語)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AUAS/Intensive German)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Reading 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Writing 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Listening 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Speaking 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(啓明/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(仁川/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(CCCU/General English Core 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「多文化交流プロジェクト(現代の社会)」を追加。
- ・時間割調整により、「倫理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「芸術学」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「西洋文学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「心理学」の配当年次を「1・2①～②・③」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「5」から「1」に変更。
- ・時間割調整により、「地理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「経済学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「情報社会論」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①」に変更。
- ・時間割調整により、「生物学」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋の美術)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(現代心理学の展開)」の配当年次を「1・2④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋文化論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「教養講義(現代経済学)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「教養講義(情報環境論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2④」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(西洋美術の図像学)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(英語と日本語)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(現代社会と企業法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(病気の生物学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(宇宙と環境科学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者調整により、「総合教養講義b(国際理解)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更、兼任・兼任教員数を「4」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・担当者調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅵ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・担当者調整により、「英語プレゼンテーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「健康科学演習」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「健康スポーツ実習(ソフトボール)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者調整により、「運動スポーツ実習(サッカー)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者調整により、「世界と地域」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・担当者調整により、「国際政治入門」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「体験実践A」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「体験実践B」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授1」に変更。
- ・資料誤記載のため、「体験実践論」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・時間割調整により、「Hiroshima Studies」の配当年次を「1①～②」から「1②」に変更。
- ・時間割調整により、「Introduction to Public Speaking」の配当年次を「1②・④」から「1①・③」に変更。
- ・時間割調整により、「Global/Regional Studies B (Miyajima Studies)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2④」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「Global/Regional Studies B (Developing Reading Comprehension)」を追加。
- ・担当者調整により、「国際政治学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・担当者調整により、「国際日本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割調整により、「現代経済入門」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「基礎演習」の専任教員等の配置を「教授4」から「教授3」に変更。
- ・担当者調整により、「ゼミナールa」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・担当者調整により、「ゼミナールb」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・担当者調整により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教1」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「インターンシップA」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授1」「助教1」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「インターンシップB」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授1」「助教1」に変更。

## 【令和元年度】

- ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と分析)」の兼任・兼担教員数を「6」から「5」に変更。
- ・担当者調整により、「大学生生活とキャリア形成」の兼任・兼担教員数を「3」から「5」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「情報応用(情報セキュリティ)」を追加。
- ・担当者調整により、「日本語Ⅱ」の兼任・兼担教員数を「2」から「3」に変更。
- ・担当者調整により、「日本語Ⅴ」の兼任・兼担教員数を「2」から「3」に変更。
- ・担当者調整により、「日本研究(日本の政治)」の兼任・兼担教員数「1」から専任教員等の配置「准教授1」に変更。
- ・担当者調整により、「グローバル特講Ⅰ」の兼任・兼担教員数を「2」から「3」に変更。
- ・派遣先の確定により、授業科目の名称を「海外研修A」から「海外研修A(海外文化体験／台湾・国立屏東)」に変更、兼任・兼担教員数「1」から専任教員等の配置「教授1」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(CCCU/General English Topic 2)」を追加。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Conversational English)」から「海外研修B(AIC/Conversational English I)」及び「海外研修B(AIC/Conversational English II)」に変更。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Written English)」から「海外研修B(AIC/Written English I)」及び「海外研修B(AIC/Written English II)」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(現代ベトナム事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(Felician/United Nations)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(Felician/American Culture)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(PSU/Sustainability and Service Learning)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(海外文化体験／中国・西南政法)」を追加。
  
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(CCCU/General English Skills 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Business Management)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Disney Collegiate)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(北京語言／中国語)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Reading1)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Reading2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Grammar1)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Grammar2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Writing1)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Writing2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Listening and Discussion1)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Listening and Discussion2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(AIC/English for Work)」を追加。
  
  
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 1)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 3)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 4)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 1)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 3)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 4)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English for Service Learning)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/Service Learning Field Work)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AUAS/Intensive German)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Reading 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Writing 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Listening 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Speaking 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(啓明/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(仁川/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(AIC/Work Experience)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(CCCU/General English Core 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(海外文化体験／台湾・国立屏東)」を追加。
- ・時間割調整により、「Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society I)」の配当年次を「1・2①」から「1・2③」に変更。
- ・時間割調整により、「Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society II)」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
- ・時間割調整により、「Multicultural Project(Japanese Culture in Hospitality and Service)」の配当年次を「1・2④」から「1・2①」に変更。
- ・担当者調整により、「多文化交流プロジェクト(地方の魅力)」の兼任・兼担教員数を「1」から「2」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「多文化交流プロジェクト(現代の社会)」を追加。

- ・時間割調整により、「倫理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「芸術学」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「西洋文学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「心理学」の配当年次を「1・2①～②・③」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「5」から「2」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「地理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「法学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割調整により、「政治学」の配当年次を「1・2②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「経済学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「化学」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(現代心理学の展開)」の配当年次を「1・2④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋文化論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「教養講義(現代経済学)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(終末期医療と倫理)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(浮世絵)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(歴史人類学)」の配当年次を「1・2④」から「1・2①」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(市民と行政法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(現代社会と企業法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(生命の化学)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(宇宙と環境科学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義b(労働問題と法)」の配当年次を「2①」から「2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義b(地方政治のしくみ)」の配当年次を「2④」から「2③～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養講義b(国際理解)」の配当年次を「2③～④」から「2②」に変更、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更、兼任・兼任教員数を「4」から「2」に変更。

- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅠ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅡ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅤ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅥ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅡ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅤ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅥ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。

- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「スペイン語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「スペイン語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。

- ・クラス数調整により、「健康科学論」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「健康科学演習」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「健康スポーツ実習(サッカー)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「健康スポーツ実習(卓球)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ニュースポーツ)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「運動スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者調整により、「運動スポーツ実習(サッカー)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「健康スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。

- ・時間割及び担当者調整により、「世界と地域」の配当年次を「1①」から「1①～②」に変更、専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教2」に変更。
- ・担当者調整により、「国際政治入門」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教2」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「体験実践A」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「体験実践B」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授1」「准教授1」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「4」に変更。
- ・資料誤記載のため、「体験実践論」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更、時間割調整により、配当年次を「1③」から「1③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「Introduction to Research」の配当年次を「1①・③」から「1②・④」に変更。
- ・時間割調整により、「Introduction to Public Speaking」の配当年次を「1②・④」から「1①・③」に変更。
- ・時間割調整により、「Global/Regional Studies A (Modern China)」の配当年次を「1・2②」から「1・2③」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「Global/Regional Studies B (Developing Reading Comprehension)」を追加。
- ・時間割調整により、「International Affairs(Peace and Security)」の配当年次を「2・3④」から「2・3②」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「International Affairs(Reading some important articles of Foreign Affairs)」の配当年次を「2・3②」から「2・3④」に変更、専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。

- ・担当者調整により、「国際政治学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「国際組織論」の配当年次を「2・3①」から「2・3②」に変更、専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「国際開発論」の配当年次を「2・3②」から「2・3④」に変更、専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者調整により、「国際協力論」の専任教員等の配置を「教授1」から「助教1」に変更。
- ・担当者調整により、「国際日本学」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割調整により、「日本政治外交史」の配当年次を「2・3②」から「2・3③」に変更。
- ・時間割調整により、「西洋政治外交史」の配当年次を「2・3③」から「2・3④」に変更。
- ・時間割調整により、「政治と社会(中国)」の配当年次を「2・3④」から「2・3③」に変更。
- ・時間割調整により、「地域研究特論A(オセアニア)」の配当年次を「2・3①」から「2・3②」に変更。
- ・時間割調整により、「地域研究特論A(東欧)」の配当年次を「2・3②」から「2・3③」に変更。
- ・時間割調整により、「地域研究特論A(中央ユーラシア)」の配当年次を「2・3④」から「2・3②」に変更。
- ・時間割調整により、「現代経済入門」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2④」に変更。
- ・担当者調整により、「政治・経済特論A(裁判と法)」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「政策概論」の配当年次を「3・4②」から「3・4①」に変更。
- ・履修登録上の制限変更により、授業科目の名称を「特別講義A(マスコミ文章講座)」から「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅰ)」「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅱ)」「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅲ)」及び「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅳ)」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「基礎演習」の配当年次を「2①・③」から「2①・②・④・③～④」に変更、専任教員等の配置を「教授4」から「教授4」「助教2」に変更。
- ・担当者調整により、「ゼミナールa」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教2」に変更。
- ・担当者調整により、「ゼミナールb」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教2」に変更。
- ・担当者調整により、「卒業研究」の専任教員等の配置を「教授5」「准教授1」「助教1」から「教授4」「准教授2」「助教2」に変更。
- ・履修推奨年次の見直しにより、「キャリアデザイン」の配当年次を「3・4②」から「2・3③」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「インターンシップA」の専任教員等の配置「教授5」「准教授1」「助教1」及び兼任・兼任教員数「1」から兼任・兼任教員数「4」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「インターンシップB」の専任教員等の配置「教授5」「准教授1」「助教1」から兼任・兼任教員数「1」に変更。
- ・担当者調整により、「長期インターンシップ事前・事後指導」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・履修推奨年次の見直し及びクラス調整により、「グローバル・プロジェクト入門」の配当年次を「3・4③」から「2・3②・③・④」に変更。
- ・時間割調整により、「教育心理学(中等)」の配当年次を「2・3③～④」から「2・3①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「中等教育方法論」の配当年次を「2①～②」から「2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「中等生徒・進路指導論」の配当年次を「2①～②」から「2③～④」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	381 科目	19 科目	401 科目	2 科目 [ 1 ]	426 科目 [ 45 ]	19 科目 [ 0 ]	447 科目 [ 46 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
2	総合教養講義a (江戸時代の化粧・結髪)	2	1・2①~②	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
3	総合教養講義a(神仏と芸能)	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
4	総合教養講義a (現代日本社会の諸相)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
5	総合教養講義a (日本の社会および 経済の文化的基礎)	2	1・2①~②	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
6	総合教養講義b(和紙)	2	2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
7	英語ライティング研究Ⅲ	2	1・2①~②	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
8	英語ライティング研究Ⅳ	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
9	資格英語研究Ⅴ	2	1・2①~②	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
10	資格英語研究Ⅵ	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
11	健康スポーツ実習 (フットサル)	1	1・2①~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
12	International Affairs(Discussing stimulating arguments in Foreign Affairs)	1	2・3②	一般	選択	担当者の学長就任により、令和元年度未開講 次年度以降開講で調整中

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の大部分が全学共通科目あるいは共通教育科目である。各々の理由で示すとおり、これらの科目の未開講のほとんどが、届出時点で予測不可能なものであった。また、すべて選択科目であり、それぞれの科目が属する科目群には当該科目以外にも多数の科目を開講している。以上のことから、学生の体系的な学習に影響はないと考えられ、学生に不利益を生じさせるものではないと判断している。  
 学生には、学生必携の『学修の手引き』、入学時、前期成績発表時及び後期成績発表時に教学センターガイダンスを実施し、丁寧に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{12}{401} = \boxed{2.99} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校舎敷地	36,805㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡				
	運動場用地	101,957㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡				
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡				
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡				
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		70,640㎡ ( 70,640㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	70,640㎡ ( 70,640㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室 98室	演 習 室 17室	実験実習室 65室 (補助職員 一人)	情報処理学習施設 18室 (補助職員 一人)	語学学習施設 7室 (補助職員 一人)	大学全体		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		国際コミュニティ学部国際政治学科			8 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部単位での特定不能のため、大学全体の数  実績に基づき修正(30) 実績に基づき修正(元)	
	国際コミュニティ学部 国際政治学科	901,525[238,268] 901,849[238,474] 913,652[243,367] (880,525[235,708]) (870,349[234,634]) (874,652[236,827])	5,961[2,579] 5,876[2,554] 5,612[2,495] (5,961[2,579]) (5,876[2,554]) (5,612[2,495])	12,656[12,597] 13,227[13,167] 12,918[12,298] (12,656[12,597]) (13,227[13,167]) (12,918[12,298])	23,998 23,882 23,240 (23,658) (23,372) (22,730)	( )	( )		
	計	901,525[238,268] 901,849[238,474] 913,652[243,367] (880,525[235,708]) (870,349[234,634]) (874,652[236,827])	5,961[2,579] 5,876[2,554] 5,612[2,495] (5,961[2,579]) (5,876[2,554]) (5,612[2,495])	12,656[12,597] 13,227[13,167] 12,918[12,298] (12,656[12,597]) (13,227[13,167]) (12,918[12,298])	23,998 23,882 23,240 (23,658) (23,372) (22,730)	( )	( )		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 増席(30)		
		11,700㎡	952 948		1,200,000				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要						
		8,871㎡	屋内プール1面	野球場1面	陸上競技場1面	アーチェリー場1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体 図書費には電子ジャーナル・データベース整備費(運用コスト含む)を含む。
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	0千円	2,561千円 2,993千円	8,196千円	
		共同研究費等	0千円 1,000千円	1,000千円	設備購入費	0千円	1,237千円 1,697千円	5,429千円	開設年度事業終了に伴う執行額確定のため。 (元)
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,220千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等							

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島修道大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
商学部										
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10		昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13		昭和38年度	同上	
経済科学部										
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.09		平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.09		平成9年度	同上	
人文学部										
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.15		昭和48年度	同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—		昭和48年度	同上	平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.15		昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—		昭和48年度	同上	平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	0.99	平成28年	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.11		昭和48年度	同上	
法学部										
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.09		昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—		平成2年度	同上	平成30年より 学生募集停止
人間環境学部										
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.08		平成14年度	同上	
健康科学部										
心理学	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.09	平成29年	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.00	平成29年	平成29年度	同上	
国際コミュニティ学部										
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.05	平成30年	平成30年度	同上	
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年	平成30年度	同上	
商学研究科										
商学専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.12		昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.16		昭和48年度	同上	
経営学専攻										
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.45		昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00		昭和52年度	同上	
経済科学研究科										
現代経済システム専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.18		平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00		平成15年度	同上	
経済情報専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.18		平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00		平成15年度	同上	

人文科学研究科									
心理学専攻									
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.38	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.00	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.30	昭和59年度	同上	
英文学専攻									
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.70	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上	
法学研究科									
法学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.10	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.15	平成6年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
設 置 時 (平成29年7月)	該当なし	—	—
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年3月)	該当なし	—	—

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

〈国際コミュニティ学部 国際政治学科〉

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

#### ① 実施体制

##### a 委員会の設置状況

広島修道大学FD・SD規定に基づき、全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。国際コミュニティ学部に関する事項を審議する組織として、国際コミュニティ学部FD推進委員会を設置した。さらに、国際コミュニティ学部の教授会においても、国際政治学科に関する教育内容、教育方法等の改善を図るための審議を、必要に応じて行うこととしている。

##### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

〈大学運営会議〉

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。令和元年度も4月15日の大学運営会議の議題「令和元年度研修計画について」で平成30年度の研修実施実績報告と令和元年度の研修計画が承認された。

〈国際コミュニティ学部FD推進委員会〉

平成30年度においてFD推進委員会を年3回（9月、11月、2月）開催した。なお、5月9日には、FD推進委員会の活動全般を確認し、とくに開設1年目の授業科目の履修状況を検証することとした。9月12日には、単位僅少学生について、その状況と指導の在り方を、11月21日には、体験実践の実施状況と12月開催予定の報告会の準備状況を、2月13日には、前期の授業アンケートの結果を、それぞれ取り上げた。当初予定していた1年次の履修状況についての検証は、成績状況を加味した検証を行う必要があることから、次年度の検討課題とした。このほか、令和元年度のカリキュラム及び時間割の編成過程で、それぞれFDの観点からの意見交換を行った。

〈学科会議〉

平成30年度においては、令和元年度のカリキュラム及び時間割編成に際して、学科所属教員が主に担当する各学科の専攻領域科目について、FDの観点から各学科において意見交換を行った。

##### c 委員会の審議事項等

〈大学運営会議〉

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

〈国際コミュニティ学部FD推進委員会〉

- (1) カリキュラムの編成について
- (2) 授業科目のシラバスについて
- (3) 授業の方法について
- (4) 授業評価の方法について
- (5) 厳正で客観的な成績評価の実施について
- (6) 授業時間外の学修相談及び履修指導について
- (7) 授業アンケートの実施、分析及び検討について
- (8) 成績評価基準及び授業アンケート結果などの学生への周知について
- (9) その他必要な事項について

#### ② 実施状況

##### a 実施内容

全学では、教員の資質向上のために、大学改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目指したFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育力アップセミナー、教授方法の改善を目指した組織的な公開授業等を行っている。

平成30年度、国際コミュニティ学部FD推進委員会では、単位僅少学生の指導の在り方（9月）、体験実践の状況（11月）、授業アンケートの結果（2月）を取り上げて実施した。また、教授会及び学科会議でもカリキュラム及び時間割編成に際して、FDの観点から意見交換を行った。

## b 実施方法

全学のFD・SD研修会は、全教員が参加できるように、定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行っている。また、大学を構成する各学部・部局がその取組みを共有できるように報告者を工夫している。

国際コミュニティ学部FD推進委員会は定例教授会の終了後に開催する。国際コミュニティ学部FD推進委員会における研修テーマは、FD運営委員が事前に調整し、各回の研修目的を達成できるように努力する。FD運営委員は、学部長、学部教務主任のほか教員若干名で構成している。

平成30年度の国際コミュニティ学部FD推進委員会は、教授会開催日に、9月と11月は終了後、2月は途中で教授会を中断して開催した。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

### ・FD・SD研修会

年2～3回開催。令和元年度は、現時点で、第1回「修道力フォーラム（予定）」（8月5日）、第2回「テーマは調整中」（10月9日）の開催が決定している。平成30年度は以下の通りであった。

#### 第1回「経常費補助金とは？」

（6月13日開催 参加者数：教員157名、職員75名）

#### 第2回「修道力フォーラム—配慮を要する学生への対応について—」

〈第1部〉 発達障がいのある学生への対応

「発達障がいのある学生をどう教育し、どう評価するか？」

「障害者差別解消法施行後の本学の体制と事例報告」

〈第2部〉 広島修道大学の学生対応のいまを語る

〈パネルディスカッション〉

「教育現場での課題と対応を探る」

（8月3日開催 参加者数：教員169名、職員114名）

#### 第3回「「修道力フォーラム」フィードバックと展望」

（10月10日開催 参加者数：教員156名、職員95名）

### ・教育力アップセミナー（新任教員対象）

平成30年度

「修大を知ろう より効果的な授業のために」

①「学び方の個性を知る—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

②「違いから学ぼう—各自が抱える教育課題の解決に向けて—」

（8月31日開催 参加者数：教員11名、職員2名）

### ・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。令和元年度は5月24日から6月21日までを前期公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成30年度は、111名の教員が189クラスで公開授業を実施し、延べ85名の教員が参加をして授業研究を行った。

〈国際コミュニティ学部〉

### ・国際コミュニティ学部FD推進委員会

5月の教授会において、規程に定めるFD推進委員会の活動全般について確認するとともに、単位僅少学生指導の在り方、体験実践の状況、授業アンケートの結果を取り上げ実施した。（参加者数：9月12日開催19名、11月21日開催19名、2月13日開催20名）

### ・国際コミュニティ学部教授会

平成30年度は4月1日の第1回教授会以降3月まで14回の教授会を開催した。教授会では、議題または報告事項においてFDの観点から審議または意見交換を実施している。

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFDでは、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回（前期・後期）定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成30年度は通年で366名の教員が実施し（専任教員の実施率は99.0%）、一人あたりの平均実施科目数は3.34科目であった。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、本人のみならず学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

#### ・科目分類別の授業アンケート集計表

#### ・実施集計表（学部単位の実施者数および率）

（注）・①a 委員会の設置状況には、関係規程等を転載又は添付すること。

②実施状況には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該 当 な し

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年度の1年次第3学期（及びその直前の夏季休暇）に実施した体験実践A及び体験実践Bの取組みは、海外における提携校における韓国文化体験プログラムのほかインターンシップやボランティアなどのプログラムに43名、国内（県内）の留学生との交流、外国人居住者の幼稚園から高校生までの子どもの学習活動の補助、被爆樹木普及に関する取組みを内容とするプログラムに19名、合計62名が参加した。初年度は3名の教員が分担し、事前・事後の学習のほか、体験実践の受入先での期間は日報の提出・管理を行い、体験実践論の授業に引き継ぎ、12月に開催した国際コミュニティ学部開設記念シンポジウムに合わせて体験実践報告会を開催した。この報告会は、体験実践論という科目の目標（体験の振り返り、言語化と学科のこれからの学びへの連携を目指した取組み）であり、4、5人のチームに分かれて各自の体験を意見交換しつつポスターに集約し発表した。報告会では8つのチームがポスターとは別にパワーポイントを使ってプレゼンテーションをし、さらに最優秀の2チームが開設記念シンポジウムでも発表した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年8月1日 公表

b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（1993年～）、『広島修道大学白書』（1999年度～）、『広島修道大学の現況』（2009年度～）として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度、及び平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受け、適合と判定されている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年 7月 1日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人修道学園

## (2) 大学名

広島修道大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒731-3195

広島県広島市安佐南区大塚東一丁目1番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハヤシ マサオ) 林 正夫 (平成12年7月1日)		
学長	(ミカミ タカノリ) 三上 貴教 (平成30年4月1日)		
学部長	(ヤベ ツネオ) 矢部 恒夫 (平成30年4月1日)		
学科長等	(シノハラ ハジメ) 篠原 新 (平成30年4月1日)	(キハラ イチロウ) 木原 一郎 (平成31年4月1日)	任期満了による交代 (平成31年4月1日) (元)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください)。  
 ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)  
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	收容定員	
国際コミュニティ学部 地域行政学科 学士(地域行政学)	法学関係	4年	75人	— 年次人	300人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	75 ( ) [ ]	( ) [ ]	75 ( ) [ ]	( ) [ ]	1.10倍	- 倍	
志願者数	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	479 (-) [ ]	(-) [ ]	621 (-) [ ]	(-) [ ]			
受験者数	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	477 (-) [ ]	(-) [ ]	612 (-) [ ]	(-) [ ]			
合格者数	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	268 (-) [ ]	(-) [ ]	263 (-) [ ]	(-) [ ]			
B 入学者数	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	(-) [ ]	83 (-) [ ]	(-) [ ]	83 (-) [ ]	(-) [ ]			
入学定員超過率 B/A					1.10		1.10				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・ ( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、( )書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	-	-	-	-	83	-	83	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
2年次	-	-	-	-	-	-	83	-	
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
3年次	/		-	-	-	-	-	-	
			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]
	/		( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
4年次			/		-	-	-	-	-
	[ - ]	[ - ]			[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]
	/		( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	
計			-	-	83		166		
	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	[ - ]	
	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	( - )	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した**在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
平成30年度	83 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
令和元年度	166 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	— 人	— 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
			令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{\quad}{\quad} = \boxed{\quad} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{83} = \boxed{0} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{166} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	海外研修C(CCCU/General English Skills 1)	1~3	3								1
	海外研修D(AIC/Conversational English)	1~3	4								1
	海外研修D(AIC/Written English)	1~3	4								1
	海外研修D(PIA/Experience America)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/Intensive English)	1~3	4								1
	海外研修E(CCCU/General English Core 1)	1~3	5								1
小計 (25科目)											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	海外研修B(Felician/American Culture)	1~3	2								1
	海外研修B(PSU/Sustainability and Service Learning)	1~3	2								1
	海外研修B(海外文化体験/中国・西南政法)	1~3	2								1
	海外研修C(CCCU/General English Skills 1)	1~3	3								1
	海外研修C(CCCU/General English Skills 2)	1~3	3								1
	海外研修C(VG/Business Management)	1~3	3								1
	海外研修C(VG/Disney Collegiate)	1~3	3								1
	海外研修C(北京語彙/中国語)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Reading1)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Reading2)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Grammar1)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Grammar2)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Writing1)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Writing2)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Listening and Discussion1)	1~3	3								1
	海外研修C(Felician/Listening and Discussion2)	1~3	3								1
	海外研修C(AIC/English for Work)	1~3	3								1
	海外研修D(AIC/General English 1)	1~3	4								1
	海外研修D(AIC/General English 2)	1~3	4								1
	海外研修D(AIC/General English 3)	1~3	4								1
	海外研修D(AIC/General English 4)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/Intensive English)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/English Instruction 1)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/English Instruction 2)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/English Instruction 3)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/English Instruction 4)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/English for Service Learning)	1~3	4								1
	海外研修D(ASU/Service Learning Field Work)	1~3	4								1
	海外研修D(AUAS/Intensive German)	1~3	4								1
	海外研修D(RMIT/Reading 2)	1~3	4								1
	海外研修D(RMIT/Writing 2)	1~3	4								1
	海外研修D(RMIT/Listening 2)	1~3	4								1
	海外研修D(RMIT/Speaking 2)	1~3	4								1
	海外研修D(啓明/現代韓国事情)	1~3	4								1
	海外研修D(仁川/現代韓国事情)	1~3	4								1
	海外研修E(AIC/Work Experience)	1~3	5								1
	海外研修E(CCCU/General English Core 1)	1~3	5								1
	海外研修E(CCCU/General English Core 2)	1~3	5								1
	海外研修E(海外文化体験/台湾・国立屏東)	1~3	5								1
小計 (65科目)											











科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主専攻科目・演習科目	基礎演習	2①~2④	2			2	1					
	ゼミナールa	3①~2	2			5	2					
	ゼミナールb	3③~④	2			5	2					
	卒業研究	4③~④	2			5	2					
	小計(4科目)											
主専攻科目・キャリア・実習科目	キャリアデザイン	3・4②	1									1
	インターンシップA	2・3通	2			4	2					
	インターンシップB	2・3通	4			4	2					
	長期インターンシップA	1・2通	4									1
	長期インターンシップB	1・2通	8									1
	長期インターンシップ事前・事後指導	1・2通	1									1
	地域プロジェクトA	3①~2	2			1	1					
	地域プロジェクトB	3③~④	2			1	1					
	グローバル・プロジェクト入門	3・4③	1				1					
	グローバル・プロジェクトA	3・4④	2			1	1					
グローバル・プロジェクトB	3・4④	2			1	1						
	小計(11科目)											
主専攻科目・学部関連科目	日本史概論Ⅰ	1①~2	2									1
	日本史概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	東洋史概論Ⅰ	1①~2	2									2
	東洋史概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	西洋史概論Ⅰ	1①~2	2									1
	西洋史概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	人文地理学Ⅰ	2・3①~2	2									1
	人文地理学Ⅱ	2・3②~④	2									1
	自然地理学	2・3①~2	2									1
	地誌Ⅰ	2・3①~2	2									1
	地誌Ⅱ	2・3②~④	2									1
	哲学概論Ⅰ	1①~2	2									1
	哲学概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	倫理学概論Ⅰ	1①~2	2									1
	倫理学概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	小計(15科目)											
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~2			2							1
	教育心理学(中等)	2・3③~④			2							1
	教育原理(中等)	1①~2			2							1
	教育制度論(中等)	1③~④			2							1
	中等社会科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・公民科教育法A	3③~④			2							1
	中等社会科教育法演習A	3③~④			2							1
	中等道徳教育論	2③~④			2							1
	中等特別活動論	2③~④			2							1
	中等教育方法論	2①~2			2							1
	中等生徒・進路指導論	2①~2			2							1
	中等教育相談	2③~④			2							1
	教育実習事前事後指導	3・4通			1							2
	教育実習Ⅰ	3通			2							1
教育実習Ⅱ	4通			2							1	
教職実践演習(中・高)	4③~④			2							4	
差別問題論	1・2①~2			2							1	
人権教育論	1③~④			2							1	
	小計(19科目)											
	合計(406科目)											
卒業要件及び履修方法												
・修道スタンダード科目6単位以上、グローバル科目及び共通教育科目合計22単位以上(教養科目8単位以上、外国語科目英語科目4単位以上、外国語科目初修外国語科目2単位以上及び保健体育科目実習科目1単位以上を含む)、学部入門科目5単位以上、学科基礎科目3単位以上(体験実践論1単位を含む)、学科科目40単位以上(政治領域18単位以上、行政領域10単位以上、政策領域6単位以上、法律領域6単位以上を含む)、学科連携科目4単位以上、演習科目4単位以上、キャリア・実習科目4単位以上を含む主専攻科目70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 ・履修制限単位数:第1学期及び第2学期の合計、第3学期及び第4学期の合計の各々について24単位(ただし4年次に限り28単位)、年間44単位。												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主専攻科目・演習科目	基礎演習	2①~2④	2			4	1					
	ゼミナールa	3①~2	2			5	2					
	ゼミナールb	3③~④	2			5	2					
	卒業研究	4③~④	2			5	2					
	小計(4科目)											
主専攻科目・キャリア・実習科目	キャリアデザイン	2・3③	1									1
	インターンシップA	2・3通	2			2	2					
	インターンシップB	2・3通	4			1						
	長期インターンシップA	1・2通	4									1
	長期インターンシップB	1・2通	8									1
	長期インターンシップ事前・事後指導	1・2通	1									2
	地域プロジェクトA	3①~2	2			1	1					
	地域プロジェクトB	3③~④	2			1	1					
	グローバル・プロジェクト入門	1・2③~④	1				1					
	グローバル・プロジェクトA	3・4④	2			1	1					
グローバル・プロジェクトB	3・4④	2			1	1						
	小計(11科目)											
主専攻科目・学部関連科目	日本史概論Ⅰ	1①~2	2									1
	日本史概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	東洋史概論Ⅰ	1①~2	2									2
	東洋史概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	西洋史概論Ⅰ	1①~2	2									1
	西洋史概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	人文地理学Ⅰ	2・3①~2	2									1
	人文地理学Ⅱ	2・3②~④	2									1
	自然地理学	2・3①~2	2									1
	地誌Ⅰ	2・3①~2	2									1
	地誌Ⅱ	2・3②~④	2									1
	哲学概論Ⅰ	1①~2	2									1
	哲学概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	倫理学概論Ⅰ	1①~2	2									1
	倫理学概論Ⅱ	1・2③~④	2									1
	小計(15科目)											
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~2			2							1
	教育心理学(中等)	2・3③~④			2							1
	教育原理(中等)	1①~2			2							1
	教育制度論(中等)	1③~④			2							1
	中等社会科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・公民科教育法A	3③~④			2							1
	中等社会科教育法演習A	3③~④			2							1
	中等道徳教育論	2③~④			2							1
	中等特別活動論	2③~④			2							1
	中等教育方法論	2①~2			2							1
	中等生徒・進路指導論	2①~2			2							1
	中等教育相談	2③~④			2							1
	教育実習事前事後指導	3・4通			1							2
	教育実習Ⅰ	3通			2							1
教育実習Ⅱ	4通			2							1	
教職実践演習(中・高)	4③~④			2							4	
差別問題論	1・2①~2			2							1	
人権教育論	1③~④			2							1	
	小計(19科目)											
	合計(451科目)											
卒業要件及び履修方法												
・修道スタンダード科目6単位以上、グローバル科目及び共通教育科目合計22単位以上(教養科目8単位以上、外国語科目英語科目4単位以上、外国語科目初修外国語科目2単位以上及び保健体育科目実習科目1単位以上を含む)、学部入門科目5単位以上、学科基礎科目3単位以上(体験実践論1単位を含む)、学科科目40単位以上(政治領域18単位以上、行政領域10単位以上、政策領域6単位以上、法律領域6単位以上を含む)、学科連携科目4単位以上、演習科目4単位以上、キャリア・実習科目4単位以上を含む主専攻科目70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 ・履修制限単位数:第1学期及び第2学期の合計、第3学期及び第4学期の合計の各々について24単位(ただし4年次に限り28単位)、年間44単位。												















科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
資格課程に関する科目・教職に関する科目	教職入門(中等)	1①~2			2							1
	教育心理学(中等)	2+3~4			2							1
	教育原理(中等)	1①~2			2							1
	教育制度論(中等)	1③~4			2							1
	中等社会科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・地理歴史科教育法A	3①~2			2							1
	社会科・公民科教育法A	3③~4			2							1
	中等社会科教育法演習A	3③~4			2							1
	中等道徳教育論	2③~4			2							1
	中等特別活動論	2③~4			2							1
	中等教育方法論	2①~2			2							1
	中等生徒・進路指導論	2①~2			2							1
	中等教育相談	2③~4			2							1
	教育実習事前事後指導	3+4通			1							2
	教育実習Ⅰ	3通			2							1
	教育実習Ⅱ	4通			2							1
	教職実践演習(中・高)	4③~4			2							4
	差別問題論	1+2①~2			2							1
	人権教育論	1③~4			2							1
小計(19科目)												
合計(423科目)												
卒業要件及び履修方法												
<p>・修道スタンダード科目6単位以上、グローバル科目及び共通教育科目合計22単位以上(教養科目8単位以上、外国語科目英語科目4単位以上、外国語科目初修外国語科目2単位以上及び保健体育科目実習科目1単位以上を含む)、学部入門科目5単位以上、学科基礎科目3単位以上(体験実践論1単位を含む)、学科科目40単位以上(政治領域18単位以上、行政領域10単位以上、政策領域6単位以上、法律領域6単位以上を含む)、学科連携科目4単位以上、演習科目4単位以上、キャリア・実習科目4単位以上を含む主専攻科目70単位以上を修得し、124単位以上修得すること。</p> <p>・履修制限単位数:第1学期及び第2学期の合計、第3学期及び第4学期の合計の各々について24単位(ただし4年次に限り28単位)、年間44単位。</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
  - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と表現)」の兼任・兼任教員数を「5」から「4」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と分析)」の兼任・兼任教員数を「6」から「5」に変更。
- ・担当者調整により、「日本語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・担当者調整により、「留学英語入門(海外生活Ⅱ)」の兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(CCCU/General English Topic 2)」を追加。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Conversational English)」から「海外研修B(AIC/Conversational English I)」及び「海外研修B(AIC/Conversational English II)」に変更。
- ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Written English)」から「海外研修B(AIC/Written English I)」及び「海外研修B(AIC/Written English II)」に変更。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(現代ベトナム事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(CCCU/General English Skills 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Business Management)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Disney Collegiate)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(北京語言／中国語)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AUAS/Intensive German)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Reading 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Writing 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Listening 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Speaking 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(啓明/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(仁川/現代韓国事情)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(CCCU/General English Core 2)」を追加。
- ・教育課程の充実を図るため、「多文化交流プロジェクト(現代の社会)」を追加。
- ・時間割調整により、「倫理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「芸術学」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「西洋文学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「心理学」の配当年次を「1・2①～②・③」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「5」から「1」に変更。
- ・時間割調整により、「地理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「経済学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「情報社会論」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①」に変更。
- ・時間割調整により、「生物学」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋の美術)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(現代心理学の展開)」の配当年次を「1・2④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋文化論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「教養講義(現代経済学)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「教養講義(情報環境論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2④」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(西洋美術の図像学)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(英語と日本語)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(現代社会と企業法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(病気の生物学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(宇宙と環境科学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者調整により、「総合教養講義b(国際理解)」の専任教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更、兼任・兼任教員数を「4」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・担当者調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅵ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・担当者調整により、「英語プレゼンテーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「健康科学演習」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「健康スポーツ実習(ソフトボール)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者調整により、「運動スポーツ実習(サッカー)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「運動スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・資料誤記載のため、「体験実践論」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更。
- ・時間割調整により、「行政学」の配当年次を「1・2①」から「1・2④」に変更。
- ・時間割調整により、「政策概論」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
- ・時間割調整により、「現代経済入門」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2④」に変更。

## 【令和元年度】

- ・担当者調整により、「修大基礎講座」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授2」に変更。
  - ・担当者調整により、「初年次セミナー」の専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授1」「准教授2」に変更。
  - ・担当者及びクラス数調整により、「情報処理入門Ⅱ(情報と分析)」の兼任・兼担教員数を「6」から「5」に変更。
  - ・担当者調整により、「大学生生活とキャリア形成」の兼任・兼担教員数を「3」から「5」に変更。
  - ・教育課程の充実を図るため、「情報応用(情報セキュリティ)」を追加。
  - ・担当者調整により、「日本語Ⅱ」の兼任・兼担教員数を「2」から「3」に変更。
  - ・担当者調整により、「日本語Ⅴ」の兼任・兼担教員数を「2」から「3」に変更。
  - ・担当者調整により、「日本研究(日本の政治)」の専任教員等の配置「准教授1」から兼任・兼担教員数「1」に変更。
  - ・担当者調整により、「グローバル特講Ⅰ」の兼任・兼担教員数を「2」から「3」に変更。
  - ・派遣先の確定により、授業科目の名称を「海外研修A」から「海外研修A(海外文化体験／台湾・国立屏東)」に変更。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(CCCU/General English Topic 2)」を追加。
  - ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Conversational English)」から「海外研修B(AIC/Conversational English I)」及び「海外研修B(AIC/Conversational English II)」に変更。
  - ・全学的な認定科目名及び単位数の変更により、授業科目の名称を「海外研修D(AIC/Written English)」から「海外研修B(AIC/Written English I)」及び「海外研修B(AIC/Written English II)」に変更。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(現代ベトナム事情)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(Felician/United Nations)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(Felician/American Culture)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(PSU/Sustainability and Service Learning)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修B(海外文化体験／中国・西南政法)」を追加。
- 
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(CCCU/General English Skills 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Business Management)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(VC/Disney Collegiate)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(北京語言／中国語)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Reading1)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Reading2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Grammar1)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Grammar2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Writing1)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Writing2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Listening and Discussion1)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(Felician/Listening and Discussion2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修C(AIC/English for Work)」を追加。
- 
- ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 1)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 3)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AIC/General English 4)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 1)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 3)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English Instruction 4)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/English for Service Learning)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(ASU/Service Learning Field Work)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(AUAS/Intensive German)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Reading 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Writing 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Listening 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(RMIT/Speaking 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(啓明/現代韓国事情)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修D(仁川/現代韓国事情)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(AIC/Work Experience)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(CCCU/General English Core 2)」を追加。
  - ・教育課程の充実を図るため、「海外研修E(海外文化体験／台湾・国立屏東)」を追加。
- 
- ・時間割調整により、「Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society I)」の配当年次を「1・2①」から「1・2③」に変更。
  - ・時間割調整により、「Multicultural Project(Popular Music in Japanese Society II)」の配当年次を「1・2②」から「1・2④」に変更。
  - ・時間割調整により、「Multicultural Project(Japanese Culture in Hospitality and Service)」の配当年次を「1・2④」から「1・2①」に変更。
  - ・担当者調整により、「多文化交流プロジェクト(地方の魅力)」の兼任・兼担教員数を「1」から「2」に変更。
  - ・教育課程の充実を図るため、「多文化交流プロジェクト(現代の社会)」を追加。

- ・時間割調整により、「倫理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「芸術学」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「西洋文学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「心理学」の配当年次を「1・2①～②・③」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「5」から「2」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「地理学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「法学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割調整により、「政治学」の配当年次を「1・2②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「経済学」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「化学」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(現代心理学の展開)」の配当年次を「1・2④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「教養講義(西洋文化論)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「教養講義(現代経済学)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(終末期医療と倫理)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(浮世絵)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(歴史人類学)」の配当年次を「1・2④」から「1・2①」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(市民と行政法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義a(現代社会と企業法)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義b(生命の化学)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義b(宇宙と環境科学)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義b(労働問題と法)」の配当年次を「2①」から「2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「総合教養講義b(地方政治のしくみ)」の配当年次を「2④」から「2③～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養講義b(国際理解)」の配当年次を「2③～④」から「2②」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「総合教養コース(情報化社会と人間)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更、兼任・兼任教員数を「4」から「2」に変更。

- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅠ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅡ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅤ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リスニングⅥ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅡ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅤ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語リーディングⅥ」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語ライティング研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「1」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「英語読解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「4」から「3」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語聴解研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「英語コミュニケーション研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。
- ・担当者及びクラス数調整により、「資格英語研究Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「5」から「6」に変更。

- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「ドイツ語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「フランス語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「スペイン語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「スペイン語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅰ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅱ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅲ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・クラス数調整により、「中国語Ⅳ」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。

- ・クラス数調整により、「健康科学論」の兼任・兼任教員数を「3」から「2」に変更。
- ・時間割調整により、「健康科学演習」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「健康スポーツ実習(サッカー)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「健康スポーツ実習(卓球)」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2①～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「3」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(ニュースポーツ)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「健康スポーツ実習(バドミントン)」の配当年次を「1・2③～④」から「1・2①～④」に変更。
- ・時間割及びクラス調整により、「運動スポーツ実習(ゴルフ)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・担当者調整により、「運動スポーツ実習(サッカー)」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「健康スポーツ実習(ソフトボール)」の配当年次を「1・2①～④」から「1・2③～④」に変更、兼任・兼任教員数を「2」から「1」に変更。

- ・時間割及び担当者調整により、「世界と地域」の配当年次を「1①」から「1①～②」に変更、兼任・兼任教員数を「12」から「13」に変更。
- ・資料誤記載のため、「体験実践論」の単位数を「選択1」から「必修1」に変更、時間割調整により、配当年次を「1③」から「1③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「日本政治外交史」の配当年次を「2・3②」から「2・3③」に変更。
- ・時間割調整により、「西洋政治外交史」の配当年次を「2・3③」から「2・3④」に変更。
- ・時間割調整により、「政治特論A(国際移動研究)」の配当年次を「2・3③」から「2・3①」に変更。
- ・時間割調整により、「行政学」の配当年次を「1・2①」から「1・2②」に変更。
- ・時間割調整により、「合意形成論」の配当年次を「2・3④」から「2・3②」に変更。
- ・担当者調整により、「自治体行政実務」の兼任・兼任教員数「1」から専任教員等の配置「教授4」「准教授3」及び兼任・兼任教員数「1」に変更。
- ・時間割調整により、「地域資源論」の配当年次を「2・3④」から「2・3①」に変更。
- ・時間割及び担当者調整により、「行政特論A(地域資源創造論)」の配当年次を「2・3③」から「2・3④」に変更、専任教員等の配置「教授1」「准教授1」から専任教員等の配置「教授1」「准教授1」及び兼任・兼任教員数「1」に変更。
- ・時間割調整により、「政策概論」の配当年次を「1・2②」から「1・2①」に変更。
- ・時間割調整により、「社会政策論」の配当年次を「2・3②」から「2・3③」に変更。
- ・時間割調整により、「政策特論A(雇用の法と政策)」の配当年次を「2・3③」から「2・3②」に変更。
- ・時間割調整により、「地方自治法」の配当年次を「2・3③～④」から「2・3①～②」に変更。
- ・担当者調整により、「法律特論A(裁判と法)」の兼任・兼任教員数を「2」に変更。
- ・時間割調整により、「国際開発論」の配当年次を「2・3②」から「2・3④」に変更。
- ・時間割調整により、「現代経済入門」の配当年次を「1・2①～②」から「1・2④」に変更。
- ・履修登録上の制限変更により、授業科目の名称を「特別講義A(マスコミ文章講座)」から「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅰ)」「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅱ)」「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅲ)」及び「特別講義A(マスコミ文章講座Ⅳ)」に変更。
- ・時間割、担当者及びクラス調整により、「基礎演習」の配当年次を「2①・②・④」から「2②・③・①～④」に変更、専任教員等の配置を「教授2」「准教授1」から「教授4」「准教授1」に変更。
- ・履修推奨年次の見直しにより、「キャリアデザイン」の配当年次を「3・4②」から「2・3③」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「インターンシップA」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授2」「准教授2」に変更。
- ・担当者及びクラス調整により、「インターンシップB」の専任教員等の配置を「教授4」「准教授2」から「教授1」に変更。
- ・担当者調整により、「長期インターンシップ事前・事後指導」の兼任・兼任教員数を「1」から「2」に変更。
- ・履修推奨年次の見直し及びクラス調整により、「グローバル・プロジェクト入門」の配当年次を「3・4③」から「2・3②・③・④」に変更。
- ・時間割調整により、「教育心理学(中等)」の配当年次を「2・3③～④」から「2・3①～②」に変更。
- ・時間割調整により、「中等教育方法論」の配当年次を「2①～②」から「2③～④」に変更。
- ・時間割調整により、「中等生徒・進路指導論」の配当年次を「2①～②」から「2③～④」に変更。

- (注) ・ 2(1)① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

## (2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	386 科目	19 科目	406 科目	2 科目 [ 1 ]	430 科目 [ 44 ]	19 科目 [ 0 ]	451 科目 [ 45 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	教養講義(西洋の音楽)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
2	総合教養講義a (江戸時代の化粧・結髪)	2	1・2①~②	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
3	総合教養講義a(神仏と芸能)	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
4	総合教養講義a (現代日本社会の諸相)	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
5	総合教養講義a (日本の社会および 経済の文化的基礎)	2	1・2①~②	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
6	総合教養講義b(和紙)	2	2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
7	英語ライティング研究Ⅲ	2	1・2①~②	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
8	英語ライティング研究Ⅳ	2	1・2③~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
9	資格英語研究Ⅴ	2	1・2①~②	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
10	資格英語研究Ⅵ	2	1・2③~④	一般	選択	担当教員退職により、令和元年度未開講
11	健康スポーツ実習 (フットサル)	1	1・2①~④	一般	選択	担当者の授業数調整により、令和元年度未開講
12	社会調査論	2	2・3②	一般	選択	担当者の学長就任により、令和元年度未開講 次年度以降開講で調整中

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目の大部分が全学共通科目あるいは共通教育科目である。各々の理由で示すとおり、これらの科目の未開講のほとんどが、届出時点で予測不可能なものであった。また、すべて選択科目であり、それぞれの科目が属する科目群には当該科目以外にも多数の科目を開講している。以上のことから、学生の体系的な学習に影響はないと考えられ、学生に不利益を生じさせるものではないと判断している。  
 学生には、学生必携の『学修の手引き』、入学時、前期成績発表時及び後期成績発表時に教学センターガイダンスを実施し、丁寧に周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{12}{406} = \boxed{2.95} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	36,805㎡	0㎡	0㎡	36,805㎡			
	運動場用地	101,957㎡	0㎡	0㎡	101,957㎡			
	小 計	138,762㎡	0㎡	0㎡	138,762㎡			
	そ の 他	200,113㎡	0㎡	0㎡	200,113㎡			
	合 計	338,875㎡	0㎡	0㎡	338,875㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
		70,640㎡ ( 70,640㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	70,640㎡ ( 70,640㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		98室	17室	65室	18室 (補助職員 一人)	7室 (補助職員 一人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		国際コミュニティ学部地域行政学科			9 室			
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	国際コミュニティ学部 地域行政学科	901,525[238,268] 901,849[238,474] 913,652[243,367] (880,525[235,708]) (870,349[234,634]) (874,652[236,827])	5,961[2,579] 5,876[2,554] 5,612[2,495] (5,961[2,579]) (5,876[2,554]) (5,612[2,495])	12,656[12,597] 13,227[13,167] 12,918[12,298] (12,656[12,597]) (13,227[13,167]) (12,918[12,298])	23,998 23,882 23,240 (23,658) (23,372) (22,730)	( )	( )	
	計	901,525[238,268] 901,849[238,474] 913,652[243,367] (880,525[235,708]) (870,349[234,634]) (874,652[236,827])	5,961[2,579] 5,876[2,554] 5,612[2,495] (5,961[2,579]) (5,876[2,554]) (5,612[2,495])	12,656[12,597] 13,227[13,167] 12,918[12,298] (12,656[12,597]) (13,227[13,167]) (12,918[12,298])	23,998 23,882 23,240 (23,658) (23,372) (22,730)	( )	( )	
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数			
		11,700㎡		952 948	1,200,000			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
		8,871㎡		屋内プール1面	野球場1面	陸上競技場1面 アーチェリー場1面		
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	676千円	676千円	図書購入費	0千円	3,077千円 2,983千円	8,196千円
		共同研究費等	277千円 1,000千円	1,000千円	設備購入費	0千円	1,083千円 1,697千円	5,429千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,220千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	—千円	—千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	広島修道大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
商学部										
商学科	4	155	—	620	学士 (商学)	1.10		昭和35年度	広島市安佐南区 大塚東一丁目1番1号	
経営学科	4	140	—	560	学士 (経営学)	1.13		昭和38年度	同上	
経済科学部										
現代経済学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.09		平成9年度	同上	
経済情報学科	4	115	—	460	学士 (経済科学)	1.09		平成9年度	同上	
人文学部										
人間関係学科	4	60	—	240	学士 (文学)	1.15		昭和48年度	同上	
心理学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—		昭和48年度	同上	平成29年より 学生募集停止
社会学専攻	4	60	—	240	学士 (文学)	1.15		昭和48年度	同上	
教育学専攻	4	—	—	—	学士 (文学)	—		昭和48年度	同上	平成28年より 学生募集停止
教育学科	4	100	—	400	学士 (教育学)	0.99	平成28年	平成28年度	同上	
英語英文学科	4	110	—	440	学士 (文学)	1.11		昭和48年度	同上	
法学部										
法律学科	4	195	—	780	学士 (法学)	1.09		昭和51年度	同上	
国際政治学科	4	—	—	—	学士 (国際政治学)	—		平成2年度	同上	平成30年より 学生募集停止
人間環境学部										
人間環境学科	4	115	—	460	学士 (人間環境学)	1.08		平成14年度	同上	
健康科学部										
心理学	4	80	—	320	学士 (心理学)	1.09	平成29年	平成29年度	同上	
健康栄養学科	4	80	—	320	学士 (栄養学)	1.00	平成29年	平成29年度	同上	
国際コミュニティ学部										
国際政治学科	4	75	—	300	学士 (国際政治学)	1.05	平成30年	平成30年度	同上	
地域行政学科	4	75	—	300	学士 (地域行政学)	1.10	平成30年	平成30年度	同上	
商学研究科										
商学専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (商学)	0.12		昭和46年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (商学)	0.16		昭和48年度	同上	
経営学専攻										
博士前期課程	2	12	—	24	修士 (経営学)	0.45		昭和52年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (経営学)	0.00		昭和52年度	同上	
経済科学研究科										
現代経済システム専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.18		平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済学)	0.00		平成15年度	同上	
経済情報専攻										
博士前期課程	2	8	—	16	修士 (経済学又は 経済情報)	0.18		平成13年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (経済情報)	0.00		平成15年度	同上	

人文科学研究科									
心理学専攻									
博士前期課程	2	14	—	28	修士 (心理学)	0.38	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	2	—	6	博士 (心理学)	0.00	昭和56年度	同上	
社会学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (社会学)	0.10	昭和59年度	同上	
教育学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (教育学)	0.30	昭和59年度	同上	
英文学専攻									
博士前期課程	2	5	—	10	修士 (文学)	0.70	昭和53年度	同上	
博士後期課程	3	3	—	9	博士 (文学)	0.11	昭和56年度	同上	
法学研究科									
法学専攻 修士課程	2	5	—	10	修士 (法学)	1.10	昭和56年度	同上	
国際政治学専攻 修士課程	2	10	—	20	修士 (国際政治学)	0.15	平成6年度	同上	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。  
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
  - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

「5教員組織の状況（1）担当教員表」は、個人情報を含む内容のため、掲載しておりません。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
設 置 時 (平成29年7月)	完成年度前に、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	留意事項 平成30年4月に設置した「国際コミュニティ学部教員組織編成の将来構想検討ワーキンググループ」を11月17日に開催し、学部教員の年齢構成を確認した。あわせて、令和元年度においてもワーキンググループにおいて継続して検討することとした。	履行中 令和元年度の国際コミュニティ学部の優先課題として人事組織計画を取り上げることとし、令和元年5月15日の国際コミュニティ学部教授会において令和元年度の事業計画に盛り込む予定である。
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年3月)	該当なし	—	—

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <国際コミュニティ学部 地域行政学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	該当なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

広島修道大学FD・SD規定に基づき、全学にわたるFDに関する事項は、広島修道大学大学運営会議で審議する。国際コミュニティ学部に関する事項を審議する組織として、国際コミュニティ学部FD推進委員会を設置した。さらに、国際コミュニティ学部の教授会においても、地域行政学科に関する教育内容、教育方法等の改善を図るための審議を、必要に応じて行うこととしている。

###### b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

###### <大学運営会議>

学長、副学長、学部長、学長室長、学生センター長、教学センター長、事務局長、総務部長、財務部長、総合企画課長、その他学長が必要と認めたものによって構成され、毎週開催される。令和元年度も4月15日の大学運営会議の議題「令和元年度研修計画について」で平成30年度の研修実施実績報告と令和元年度の研修計画が承認された。

###### <国際コミュニティ学部FD推進委員会>

平成30年度においてFD推進委員会を年3回（9月、11月、2月）開催した。なお、5月9日には、FD推進委員会の活動全般を確認し、とくに開設1年目の授業科目の履修状況を検証することとした。9月12日には、単位僅少学生について、その状況と指導の在り方を、11月21日には、体験実践の実施状況と12月開催予定の報告会の準備状況を、2月13日には、前期の授業アンケートの結果を、それぞれ取り上げた。当初予定していた1年次の履修状況についての検証は、成績状況を加味した検証を行う必要があることから、次年度の検討課題とした。このほか、令和元年度のカリキュラム及び時間割の編成過程で、それぞれFDの観点からの意見交換を行った。

###### <学科会議>

平成30年度においては、令和元年度のカリキュラム及び時間割編成に際して、学科所属教員が主に担当する各学科の主要専攻領域科目について、FDの観点から各学科において意見交換を行った。

###### c 委員会の審議事項等

###### <大学運営会議>

1. FD及びSDを推進するための企画及び調整に関すること
2. FD及びSDに関する報告書等の作成に関すること
3. その他FD及びSDの推進に関すること

###### <国際コミュニティ学部FD推進委員会>

- (1) カリキュラムの編成について
- (2) 授業科目のシラバスについて
- (3) 授業の方法について
- (4) 授業評価の方法について
- (5) 厳正で客観的な成績評価の実施について
- (6) 授業時間外の学修相談及び履修指導について
- (7) 授業アンケートの実施、分析及び検討について
- (8) 成績評価基準及び授業アンケート結果などの学生への周知について
- (9) その他必要な事項について

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

全学では、教員の資質向上のために、大学改善のための諸方策について大学教職員の共通認識を醸成することを目指したFD・SD研修会、新任教員のための研修会である教育カアップセミナー、教授方法の改善を目指した組織的な公開授業等を行っている。

平成30年度、国際コミュニティ学部FD推進委員会では、単位僅少学生の指導の在り方（9月）、体験実践の状況（11月）、授業アンケートの結果（2月）を取り上げて実施した。また、教授会及び学科会議でもカリキュラム及び時間割編成に際して、FDの観点から意見交換を行った。

## b 実施方法

全学のFD・SD研修会は、全教員が参加できるように、定例教授会の開始時間を1時間繰り下げて教授会前に行っている。また、大学を構成する各学部・部局がその取組みを共有できるように報告者を工夫している。

国際コミュニティ学部FD推進委員会は定例教授会の終了後に開催する。国際コミュニティ学部FD推進委員会における研修テーマは、FD運営委員が事前に調整し、各回の研修目的を達成できるように努力する。FD運営委員は、学部長、学部教務主任のほか教員若干名で構成している。

平成30年度の国際コミュニティ学部FD推進委員会は、教授会開催日に、9月と11月は終了後、2月は途中で教授会を中断して開催した。

## c 開催状況（教員の参加状況含む）

〈全学〉

### ・FD・SD研修会

年2～3回開催。令和元年度は、現時点で、第1回「修道力フォーラム（予定）」（8月5日）、第2回「テーマは調整中」（10月9日）の開催が決定している。平成30年度は以下の通りであった。

#### 第1回「経常費補助金とは？」

（6月13日開催 参加者数：教員157名、職員75名）

#### 第2回「修道力フォーラム—配慮を要する学生への対応について—」

〈第1部〉 発達障がいのある学生への対応

「発達障がいのある学生をどう教育し、どう評価するか？」

「障害者差別解消法施行後の本学の体制と事例報告」

〈第2部〉 広島修道大学の学生対応のいまを語る

〈パネルディスカッション〉

「教育現場での課題と対応を探る」

（8月3日開催 参加者数：教員169名、職員114名）

#### 第3回「「修道力フォーラム」フィードバックと展望」

（10月10日開催 参加者数：教員156名、職員95名）

### ・教育力アップセミナー（新任教員対象）

平成30年度

「修大を知ろう より効果的な授業のために」

①「学び方の個性を知る—違いから学ぶ、違いを受け入れる姿勢—」

②「違いから学ぼう—各自が抱える教育課題の解決に向けて—」

（8月31日開催 参加者数：教員11名、職員2名）

### ・教員相互の授業参観

教員個々の授業方法改善のため平成10年以来、公開授業を行っている。令和元年度は5月24日から6月21日までを前期公開授業実施期間として、現在、希望者を募っている。平成30年度は、111名の教員が189クラスで公開授業を実施し、延べ85名の教員が参加をして授業研究を行った。

〈国際コミュニティ学部〉

### ・国際コミュニティ学部FD推進委員会

5月の教授会において、規程に定めるFD推進委員会の活動全般について確認するとともに、単位僅少学生指導の在り方、体験実践の状況、授業アンケートの結果を取り上げ実施した。（参加者数：9月12日開催19名、11月21日開催19名、2月13日開催20名）

### ・国際コミュニティ学部教授会

平成30年度は4月1日の第1回教授会以降3月まで14回の教授会を開催した。教授会では、議題または報告事項においてFDの観点から審議または意見交換を実施している。

## d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

全学のFDでは、参加後のアンケートを通して、次回のFDテーマ設定等の参考としている。また、公開授業では、参観者のアドバイスシートを通じて、実施教員の授業改善に活かしている。

## ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

### a 実施の有無及び実施時期

授業改善のために、年2回（前期・後期）定期的に非常勤講師も含めて全教員が実施している。平成30年度は通年で366名の教員が実施し（専任教員の実施率は99.0%）、一人あたりの平均実施科目数は3.34科目であった。

### b 教員や学生への公開状況、方法等

授業アンケートの結果は、本人のみならず学科・専攻・グループの単位でもフィードバックし、組織的な点検・評価に活用している。学生等に対しては、本学Webサイトにて以下の項目を公開している。

・科目分類別の授業アンケート集計表

・実施集計表（学部単位の実施者数および率）

（注）・①a 委員会の設置状況には、関係規程等を転載又は添付すること。

②実施状況には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該 当 な し

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

平成30年度の1年次第3学期（及びその直前の夏季休暇）に実施した体験実践A及び体験実践Bの取組みは、広島県、広島市、廿日市市、北広島町、坂町のほか県内6市町、山口県の2市町において80名、フリースクールを運営するNPOに1名、合計81名が参加した。初年度は7名の教員が分担し、事前・事後の学習のほか、体験実践の受入先での期間は日報の提出・管理を行い、体験実践論の授業に引き継ぎ、12月に開催した国際コミュニティ学部開設記念シンポジウムに合わせて体験実践報告会を開催した。この報告会は、体験実践論という科目の目標（体験の振り返り、言語化と学科のこれからの学びへの連携を目指した取組み）であり、4, 5人のチームに分かれて各自の体験を意見交換しつつポスターに集約し発表した。報告会では8つのチームがポスターとは別にパワーポイントを使ってプレゼンテーションをし、さらに最優秀の2チームが開設記念シンポジウムでも発表した。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和元年8月1日 公表

b 公表方法

本学は、学則及び大学院学則において、「その教育研究水準の向上を図り、大学の目的及び社会的使命を達成するため、大学における教育研究活動等の状況について自己点検・評価を行い、その結果を公表するものとする」と定めている。また、その教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって、積極的に情報を提供するものとし、社会に対する説明責任を課している。具体的には、本学の取り組みを、『広島修道大学の現状と課題』（1993年～）、『広島修道大学白書』（1999年度～）、『広島修道大学の現況』（2009年度～）として刊行し、社会に公開している。また、Webサイトでも同様の情報公表を行っている。

③ 認証評価を受ける計画

これまで、平成16年度、平成23年度、及び平成30年度に大学基準協会の第三者評価を受け、適合と判定されている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 ( 有 ・ 無 )

b 公表有の場合の公表（予定）時期 ( 令和元年 7月 1日 )

b 公表無の場合の特段の理由 ( )

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。